

電力 DX のデジタルグリッド 鳥取市における地域マイクログリッド導入プラン策定プロジェクトに参画 ～地産地消の電力融通のしくみ構築を目指して～

デジタルグリッド株式会社（東京港区、代表取締役社長：豊田祐介）は、ダイヤモンド電機株式会社（鳥取県鳥取市、代表取締役社長：小野有理、ダイヤモンドエレクトリックホールディングスグループ）が代表事業者として申請し採択された資源エネルギー庁「令和4年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金（地域マイクログリッド構築支援事業のうち、導入プラン作成事業）」に対して、共同事業者として参画します。

1. 本事業について

本事業は協同組合鳥取鉄工センターを主体とし、代表としてダイヤモンド電機が申請を行い、共同事業者として鳥取ガス株式会社、BIPROGY株式会社、デジタルグリッド、および鳥取市との連携によって実施をするものであります。

この度の導入プラン作成においては、ダイヤモンド電機が製造機能を有する鳥取市において、地域と一体となって脱炭素に取り組み、エネルギーの地産地消が叶うプランの検討を目指すと共に、地域防災や地域活性の観点などにも焦点を当て、地域の発展に貢献がでるプランの作成を目指すものであります。

事業主体

協同組合鳥取鉄工センター

代表事業者

ダイヤモンド電機株式会社

共同事業者

鳥取ガス株式会社

BIPROGY株式会社

デジタルグリッド株式会社

鳥取市

「令和4年度 地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金（地域マイクログリッド構築支援 事業のうち、導入プラン作成事業）」



鳥取市での
・脱炭素
・エネルギー地産地消
・地域防災
・地域活性 など

2. デジタルグリッドの狙いについて

デジタルグリッドはデジタルグリッドプラットフォームを通じて、需要家と発電家を結び付ける P2P 取引を提供しております。本事業への参画を通じて、地域を同一とする発電家と需要家の P2P の取引を実現させることで需給の地産地消を実現させるスキームの検討を推進して参ります。

【本件取材問い合わせ先】 デジタルグリッド株式会社 広報室 石原 pr@digitalgrid.com

TEL 080-4388-3635 / 03-6256-0008 東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル 3 階

【ご参考】 デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）の概要

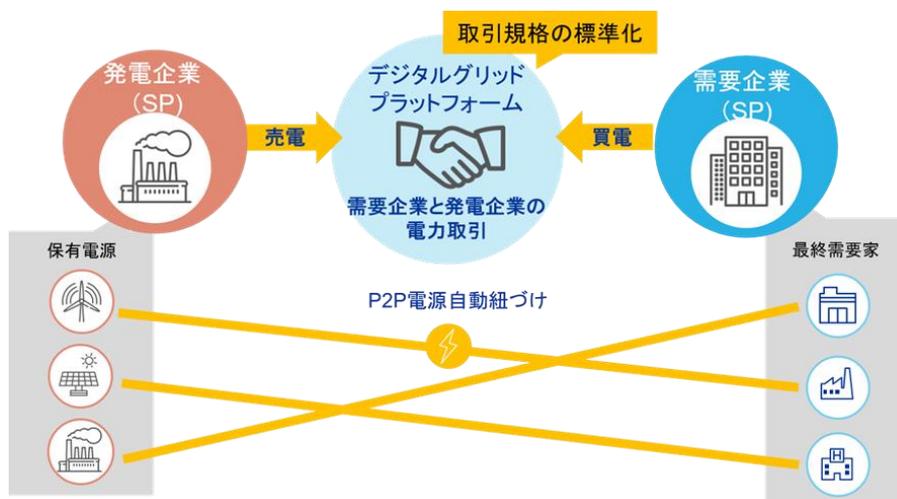
デジタルグリッドは、日本初の民間による自由な電力取引市場、「デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）」を、2020年2月から商用運営を行っています。

日本政府は再生可能エネルギー（再エネ）の主力電源化を掲げ、また企業もSDGsやRE100プロジェクトへの取り組み推進など、再エネ電源の活用ニーズは高まっています。しかし一方で、再エネ電源は需給調整が困難など、電力システムの中で活用するためには多くの課題があります。

DGPは、そうした再エネ電源に加え多種多様な電源と電力需要をピアツーピア（P2P）で結び付ける、「電気取引所」となります。DGPの主な特徴は次の3点です。

- ①電力取引の専門資格やシステム投資なしで取引できる ⇒電力取引プレイヤーを増やせる
- ②電源識別を行う（例えば、再エネだけを選んで購入できる） ⇒再エネ活用を円滑化する
- ③需給調整等の煩雑な業務をAIなどで自動化⇒発電家は電気の効率的売却、需要家は電力コスト削減等が見込める

【デジタルグリッド・プラットフォーム（DGP）のイメージ図】



【会社概要】 ～分散電源、再エネ・環境価値の取引プラットフォームの構築・運営

会社名：デジタルグリッド株式会社 <https://www.digitalgrid.com/>

代表者：代表取締役社長 豊田祐介

設立：2017年10月

資本金：2,643,690,316円（2022年3月31日、資本準備金含む）

従業員数：37名

所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂1-7-1 赤坂榎坂ビル3階

事業内容：電力および環境価値取引プラットフォーム事業

以上

【本件取材問い合わせ先】 デジタルグリッド株式会社 広報室 石原 pr@digitalgrid.com

TEL 080-4388-3635 / 03-6256-0008 東京都港区赤坂1-7-1 赤坂榎坂ビル3階